

有楽町アートアーバニズム(YAU) x 東京藝術大学 キュレーション教育研究センター

『展覧会設計演習 I』 社会人ディスカッション・パートナー募集

この度、有楽町アートアーバニズム(YAU)と東京藝術大学キュレーション教育研究センターは、2023年6月より大手町・丸の内・有楽町を中心にした社会人と東京藝術大学に在籍する学生が、YAU STUDIOを拠点に学ぶ授業『展覧会設計演習 I』を新しく開講します。

『展覧会設計演習 I』(6月・7月、教員:難波祐子)は、都市空間を舞台に小規模な展覧会やアートプロジェクト(いずれも形式未定)の制作を通して、社会とアートの接点を深掘りします。この度、学生と一緒に学ぶ社会人のディスカッション・パートナーを若干名募集します。

YAUの拠点であるYAU STUDIOは、アーティストやアートマネージャー、舞台制作者、社会人による対話と交流を活動の軸に、これまで領域を横断して活躍するゲストを招いたトークイベント(YAU SALON)などを定期的で開催してきました。東京藝術大学との本取り組みは、こうした対話と交流を<実践>まで繋げ、更には社会人と学生が異なる視点を持ち寄り、社会を再考察する試みとしても捉えています。参加に際して、アートへの関心のほかに専門知識は要しません。何よりも、年代や背景、経験の異なる人たちと新しくクリエイション・キュレーションすることに関心がある／都市を舞台に自らの視点を形にする企画やプロセスのあり様を探りたい／アートマネジメントに触れ、新たな手法を普段の仕事や日常生活に取り入れたいと考える社会人を大歓迎します。また、普段からアートマネージャーや舞台制作者として活動する方にも、視点をより広げ深める学びの場となることを期待しています。

つきましては、以下の通り、『展覧会設計演習 I』の参加者を若干名募集いたします。

なお、応募者多数の場合は、選考を行う場合があります。

展覧会設計演習 I

◆ 授業概要

展覧会・アートプロジェクトを都内で実施することを念頭に企画から制作、運営までのプロセスを実践的に学びます。都市空間に介入しながら、通常の美術館での展覧会とは異なる手法で、アートと実社会を結びつけるキュレーションについて東京藝術大学の学生と社会人が共に主体的に思考・実験していく機会とします。

授業の形式として、展覧会設計演習 I では実際の展覧会見学や街歩きも交え、展覧会の企画制作に関する必要な知識を学び、各自が街(都市空間)で実現したい展覧会の企画書を作成し、プレゼンテーションを行います。

展覧会設計演習 I は 6 月、7 月に 5 回の開催を予定しています(次頁の日程を参考)。

◆ 開催概要

会場: YAU STUDIO(千代田区有楽町 1-10-1 有楽町ビル 10F)

時間: 午前 10 時～午後 1 時

参加費: 無料

◆ 教員紹介 *敬称略

難波祐子(なんば・さちこ)

東京藝術大学キュレーション教育研究センター特任准教授。弘前れんが倉庫美術館アジャクト・キュレーター。東京都現代美術館を経て、国内外での展覧会企画に関わる。著書に『現代美術キュレーター・ハンドブック』『現代美術キュレーターという仕事』(ともに青弓社)など。企画した主な展覧会に「こどものにわ」(2010, 東京都現代美術館)、「坂本龍一: seeing sound, hearing time」(2021, MWOODS Museum | 木木美術館、北京)、「大巻伸嗣 - 地平線のゆくえ」(2023, 弘前れんが倉庫美術館、青森)、「坂本龍一 | SOUND AND TIME」(2023, MWOODS Museum | 木木美術館、成都、中国)など。

◆ 日程

展覧会設計演習 I(前期)

第 1 回	令和 5 年 06 月 10 日(土)	イントロダクション：展覧会を作るプロセスについて知る
第 2 回	令和 5 年 06 月 17 日(土)	どのような展覧会にしたいか考える：街歩き、リサーチ、コンセプト作り
第 3 回	令和 5 年 06 月 24 日(土)	展覧会というメディアについて考える：展覧会見学・分析、展覧会の種類
第 4 回	令和 5 年 07 月 01 日(土)	企画書と予算書を書いてみよう
第 5 回	令和 5 年 07 月 08 日(土)	企画書プレゼン、総括

◆ 申し込み方法

以下の項目を添えて、YAU まで E メールをお送りください。

- 氏名
- 連絡先 E メールアドレス
- 電話番号
- 職種
- 年齢 10 代・20 代・30 代・40 代・50 代・60 代以上
- 出席不可日程(あれば)
- 参加動機(150 字程度)
- 質問

送信先メールアドレス: arturbanism2021@gmail.com

件名: 展覧会設計演習申し込み

締め切り: 5 月 31 日 23:59 (厳守)

参加可否について、6 月 3 日までお知らせします。

問い合わせ: 有楽町アートアーバニズム(YAU) 担当: 東海林

arturbanism2021@gmail.com

◆ 備考

日程に変更が生じる場合、速やかにお知らせします。

美術館やイベントへの入場・参加料がかかる場合があります。

YAUと東京藝術大学の記録・広報を目的として、写真・動画による記録を行います。

参加終了後、アンケートやフィードバックを依頼することがあります。

本演習において受講認定証などは発行しません。

全日程において出席可能な方を希望しますが、未定でも構いません(欠席の場合、講義内容の共有については検討中)。

キュレーション教育研究センターのウェブサイトは制作中です。

◆ 今後の予定(詳しくは夏頃にご案内します。)

『展覧会設計演習Ⅱ』(2023年11月から2024年1月、最後に1週間程度の展覧会・アートプロジェクトを実施予定。教員:難波祐子)

『アートプロジェクト-音楽 x 身体表現 x 福祉』(2023年11月～2024年1月、領域横断型プログラムの企画立案やプログラムデザインについて協働的に学びます。コーディネーター:酒井雅代)

[東京藝術大学 ウェブサイト](https://www.geidai.ac.jp) <https://www.geidai.ac.jp>

[有楽町アートアーバンイズム\(YAU\) ウェブサイト](https://arturbanism.jp) <https://arturbanism.jp>